

英語科学習指導案

総社南高等学校 英語科 第2学年

コミュニケーション英語Ⅱ

単元 Lesson 6 Gaudi and His Messenger

(LANDMARK Fit English CommunicationⅡ 啓林館)

指導上の立場

○単元観

本題材では、スペイン出身の建築家であるアントニオ・ガウディと、ガウディの遺作であり、今なお建築が続いているサグラダ・ファミリアの主任彫刻家である外尾悦郎を取り上げている。Gaudi の自然観や、Gaudi や外尾に共通する理想を追い求める生き方について考えるきっかけとしたい。

○生徒の実態

英語の自由英作文やスピーキングといった表現活動については意欲的に取り組む生徒がほとんどであるが、正確さに課題が見られる。本時では、生徒が本文の要旨をとらえ、キーワードを見て本文の内容を伝えたり、本文の内容について自分の意見を理由と共に書いたりすることができるようにしたい。

○本単元で工夫する点や手立て

Part 1 と Part 2 では分詞構文を、Part 3 では過去分詞、Part 4 では付帯状況を表す with を扱う。英語表現の授業と関連づけながら、本文の読解において適切に意味がとれるようにしたい。また、ペア活動やグループ活動の中で積極的に英語でコミュニケーションを図れるように指導をするとともに、既習の知識を活用して本文の内容を適切に伝えたり、自分の意見を表現したりする力を育成したい。

目 標

○グループワークやペアワークにおいて、相手の発表をしっかりと聞いたり、自分の意見を積極的に伝えたりすることができる。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度) …①

○キーワードを使って本文の内容を英語で伝えたり、それに関する自分の考えや意見を述べたりすることができる。(外国語表現の能力) …②

○本文の内容についての質問に的確に答え、要旨をとらえることができる。(外国語理解の能力) …③

○単元を通して、分詞構文や過去分詞の用法を理解することができる。

(言語や文化についての知識・理解) …④

計 画 (全9時間)

主な学習活動	目標	評価基準
第一次：Part 1 の本文の読解と表現活動 (2時間) 第1時 語彙、発問による内容理解、文法事項の確認 第2時 要旨の確認、音読活動、リテリング、表現活動	③④ ①②	活動の観察 ワークシート
第二次：Part 2 の本文の読解と表現活動 (2時間) 第1時 語彙、発問による内容理解、文法事項の確認【2-7 本時】 第2時 要旨の確認、音読活動、リテリング、表現活動【2-2 本時】	③④ ①②	
第三次：Part 3 の本文の読解と表現活動 (2時間) 第1時 語彙、発問による内容理解、文法事項の確認 第2時 要旨の確認、音読活動、リテリング、表現活動	③④ ①②	
第四次：Part 4 の本文の読解と表現活動 (2時間) 第1時 語彙、発問による内容理解、文法事項の確認 第2時 要旨の確認、音読活動、リテリング、表現活動	③④ ①②	
第五次：Unit 6 のまとめ、表現活動	① ②	

本時案 第二次（第1時）

目標	○本文の内容についての質問に的確に答え、要旨をとらえることができる。（外国語理解の能力） ○単元を通して、分詞構文の用法を理解することができる。 （言語や文化についての知識・理解）	
学習活動	指導・支援と留意点	評価等
1 英語で挨拶を行う。	1 英語で挨拶をし、英語を話す雰囲気を作る。	
Aim: To understand how the Sagrada Familia has continued to be built.		
2 本文に関連したスピーキングを行う。	2 時間を図り、自分の意見を即興で話すよう伝える。アウトプットがしやすいように語彙を与えておく。	
3 予習をペアで確認する。	3 生徒が疑問点を共有し、お互いに教え合いができるようにする。また、生徒の理解が難しかった点を把握する。	
4 新出単語を確認する。	4 できるだけ写真を用い、視覚的に語彙を理解できるようにする。また、ペアでクイズを出し合い、単語の定着を図る。	
5 本文をシャドーイングする。	5 本文の内容をイメージしながらシャドーイングを行うよう指導する。また、予習完成ノートを活用することで、単語ではなくチャンクで内容をとらえるよう伝える。	
6 質問に答える。	6 本文の内容理解を深めるため、英語の質問をスクリーンに表示し、ペアで答えを確認させる。その後、指名し答えをクラスに共有する。	
7 文法事項の確認をする。	7 生徒の質問を基に文法事項の解説をする。	関心・意欲・態度
8 Part 2 の要点を各自でまとめる。	8 予習完成ノートに本文の要点を簡潔にまとめるよう指示する。	ワーク等の提出物にて評価する。
9 次回の宿題の指示をする。	9 Workbook に取り組み、復習を行うように指示する。	知識・理解
		外国語理解の能力
		定期考査にて評価する。

本時案 第二次（第2時）

目標	○ペアワークにおいて、相手の発表をしっかりと聞いたり、自分の意見を積極的に伝えたりすることができる。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度) ○キーワードを使って本文の内容を英語で伝えたり、それに関する自分の考えや意見を述べたりすることができる。(外国語表現の能力)	
学習活動	指導・支援と留意点	評価等
1 英語で挨拶を行う。	1 英語で挨拶をし、英語を話す雰囲気を作る。	
Aim: To tell your opinion about the buildings Gaudi designed.		
2 シャドーイングを行う。	2 CD を1度流し、シャドーイングをしながら本文の内容を頭の中でイメージするように指示し、前時に学んだ内容を思い出すと同時に発音も確認できるようにする。	
3 宿題のワークをペアで確認する。また、各自書いてきた本文の要旨を見せ合う。	3 生徒が疑問点を共有し、お互いに教え合いができるようにする。また、生徒の理解が難しかった点を把握し、全体に共通するエラーがあれば解説する。また、本文の要旨について、よく書けている作品は全体に共有する。	
4 要約文を穴埋めをしながら音読する。	4 即興で要約文の穴埋めをして音読をすることで、本文の要旨が理解できているかを確認する。	
5 音読活動を行う。	5 本文を虫食いにした状態で、ペアと交代で1文ずつ音読することで、本文中の表現を覚えて活用できるようにする。2回目、3回目ではさらに空欄を増やしたものをを用い、難易度を徐々に上げていく。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">関心・意欲・態度</div> ペアワークに積極的に・主体的に参加できる。(観察)
6 キーワードを見て、本文のリテリングを行う。	6 キーワードのみ与え、各自で練習をする時間を与える。その後、キーワードを用いて自分の言葉で本文の内容を説明するように伝える。	
7 与えられたトピックに対する自分の意見を英語でペアに伝える。	7 本文の内容と関連させて、ガウディの作品を紹介する。その中でどの作品が好きかを選び、理由とともに述べるようにする。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">表現の能力</div> 自分の考えを英語で話すことができる。 (観察、ワークシート)